

「サイバーセキュリティシンポジウム道後2023」を開催

- 総務省四国総合通信局は、サイバーセキュリティシンポジウム道後実行委員会（委員長：小林真也 愛媛大学大学院教授）と協働し、令和5年6月29日(木)・30日(金)の2日間、「サイバーセキュリティシンポジウム道後（通称：SEC道後）2023」を開催。
- 今回は、昨年12月の「四国サイバーセキュリティネットワーク」発足を踏まえ、「地域SECURITYの力でサイバー攻撃と戦う」をテーマに、安全安心なサイバー空間の確保に向けた地域での対応力強化につなげるため、多様な講演のほか、意見交換、交流の場を提供。

【目的・経緯等】

サイバー空間における情報セキュリティの重要性について広く普及・啓発を図るとともに、地域におけるサイバーセキュリティ人材の育成を目的に、平成24年から愛媛県松山市において開催しており、毎年全国からセキュリティの専門家や関心の高い方々が集まります。12回目となる今回は、のべ約1,000名（2日間：現地・オンライン）が参加しました。

【プログラム】

総務省サイバーセキュリティ統括官の**基調講演**をはじめ、サイバーセキュリティ分野の第一線で活躍されている専門家・企業の方々による**講演**や、四国の大学・専門学校の学生等が登壇し教育と地域活動の連携等について考える**パネルディスカッション**のほか、**意見交換会**や**ナイトセッション**が実施されました。

ナイトセッションでは、近時関心の高い4つのテーマ（医療現場におけるサイバーセキュリティ対策／近年のサイバー脅威の事例等／生成AI活用／中小企業のセキュリティ対策支援）を取り上げ、熱心な議論が行われました。

また、「**学生研究賞受賞研究発表会**」では、4件の研究の表彰と発表が行われ、最優秀研究に総務省四国総合通信局長賞を授与しました。

なお、シンポジウムの模様は、四国内9箇所のサテライト会場（鳴門教育大学、四国大学、香川大学、香川高等専門学校、愛媛大学、新居浜工業高等専門学校、弓削商船高等専門学校、高知工科大学、高知工業高等専門学校）において、学生・教職員を対象にオンライン配信し、約260名が視聴しました。



<講演会場の様子>



<協賛社 展示ブースの様子>

【主催】サイバーセキュリティシンポジウム道後 実行委員会

【共催】愛媛大学、愛媛県、松山市、総務省四国総合通信局、
（国研）情報通信研究機構 ほか

【後援・協力】経済団体、セキュリティ関連団体、テレコム関連団体、
教育機関、研究機関等 約20企業・団体

【開催場所】愛媛県松山市（ハイブリッド形式で開催）
講演：松山市立子規記念博物館
意見交換会・ナイトセッション：ANAクラウンプラザホテル松山



<パネルディスカッション>



<学生研究賞 表彰>

参加者の声（アンケートより）：「サイバーセキュリティに関する志を同じくする方々との交流ができ、有意義な時間を過ごすことができた」
「ナイトセッション等、セキュリティ分野のトピックを全体俯瞰できる有用な機会になった」、「最新の情報が反映されていて、バランスのよいプログラムだった」

【お問い合わせ先】四国総合通信局
サイバーセキュリティ室 089-936-5044